

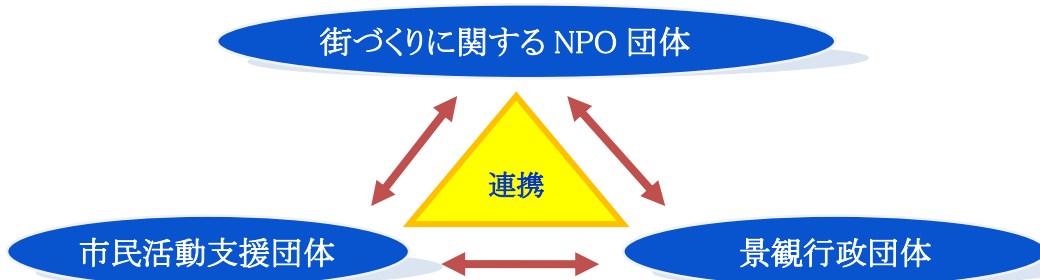
【電線地中化推進協議会(ネットワーク)】ご参加のお願い

こんなに素晴らしい街だったのか！！電柱、電線の無い街は全く違った空間を創出します！！



私たち NPO「電線の無い街づくり支援ネットワーク」は日本の街から電線、電柱を無くし景観を先進国並みの快適な空間にするための活動を進めています。

景観の向上の為には無電柱化のみならず、看板、広告塔や建築物の美化や様式の統一等、様々な取り組みが必要です。そこで私たちは景観の向上、保護を目的し関係する行政や、各種団体と情報を交換し活動を連携する事で、相乗効果が生まれ、この運動を一層盛り上げて行く事が出来ると思います。具体的連携については協議を重ね今後詳細を詰めてまいります、それぞれのセミナーや催し等の活動を相互に紹介し、理解を進める事からスタートしたいと考えています。そして必要に応じ意見交換等の機会が取れば更に理解と協力の可能性が高まるものと考えます。趣旨についての賛同される方は是非とも当事務局にご連絡下さい！！



日本の電柱・電線の現状について感じられていることをエッセイとして綴りお送り下さい。本会報の【随想】欄に掲載させて頂きます。1000～1500文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)と顔写真を添えて下さい。投稿をお待ちしています！事務局 井上 info@nponpc.net

私達が住む日本の空を、みんなで美しい空へ！



美空 ～MISORA～

第57号

発行日:2013年5月25日(土)

発行者:NPO 法人電線の無い街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

《活動報告》2013年04月30日理事会(COM計画研究所)

◆技術開発委員会:進捗報告・新年度の活動方針

2012年度は低コストに技術開発を進めることを目標にDDボックスの試験施工が完了した。2013年度の活動方針としては、引き続き低コスト・低価格開発を進めると同時に会員各社が提供した技術をそれぞれ共有していきたい。

◆世論形成委員会:進捗報告・新年度の活動方針

数年後に電線類地中化全国連絡協議会(仮称)を発足させたい。そのためには定期的に情報交換していく。まずは、今度の総会までに協議会構想を作成する。

◆事業協力委員会:進捗報告・新年度の活動方針

2013年度の目標として、ネットワーク作りと実績作り。具体的な案件として、先月に電線類地中化検討委員会が発足した福知山市との結びつきを更に強化する。加えて、新潟県の見附市からNPOに電線類地中化に関する案件依頼を受け、今後7月1日に東京で見附市に人々を呼び込むコンセプト・方法等を協議していく予定。

◆東京活動委員会:進捗報告・新年度の活動方針

総会後のセミナーについて、大阪府の富山さんからのご紹介で、大阪府交通道路室環境整備グループの方に講師をしていただくことになった。小池百合子先生は参院選(7月21日)の為、小池先生の予定を最優先させて、6月中旬以降で講師をしていただきたい。FS事業は、新町通りの無電柱化を検討中だが、地元の人の関心が薄いためなかなか進まずに停滞中。他のエリアも検討する。

◆06月度の理事会の日程

次回の理事会は5月31日(金) 18時からCOM計画研究所にて開催



NPO 法人電線の無い街づくり支援ネットワーク事務局 (株)ジオリズム内 担当:井上

Mail: drj6616@live.jp <http://www.georhizome.com/> Tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833

【案内】セミナー開催！《大阪府の電線類地中化の現状と今後の展望》

◆大阪の街を南北に貫くメインストリート・御堂筋。四季折々の景観を楽しませてくれるこの道は、なぜ美しいのでしょうか。「街路樹の銀杏並木に彩られている。」、「建物の高さが一定に保たれている。」、「歩道の空間を広く取っている。」だけではありません。電柱や電線が我が物顔のように、通りや街並みを覆っていないからなのです。

今回のセミナーは大阪府都市整備部交通道路室 道路環境課 交通安全施設グループの後川徳哉氏をお招きして電線類地中化の現状と展望についてご講演いただきます。

同課は経済や暮らしを支える府民の共有の財産である「みち」を適切に維持管理し、良好な状態で子供や孫たち将来世代に引き継いでもらう為に、限られた予算のなか計画的な業務運営に努めています。様々な工夫や新技術の採用などにより、コスト削減や都市環境の改善を図っています。主な事業としては、道路の維持管理、府民との協働事業、道路騒音等の環境業務、電線共同溝事業、PPP事業などを行っています。

■プログラム

18:00 開演

18:05 ご挨拶／高田理事長

18:10 講演／後川徳哉 氏

19:10 質疑応答

19:20 事務連絡／井上事務局長

19:30 閉演

■詳細

日付:2013年6月21日(金)

18:00～19:30

受付:17時30分～ 定員60名

会費:一般1,000円/学生500円/会員 無料

■会場

大学コンソーシアム大阪 ルームA

大阪市北区梅田 1-2-2-400

大阪駅前第2ビル4階キャンパスポート大阪

■交流会

20:00～21:30 (費用:3500円)

大阪駅前第3ビル B2F 「花のかけはし」

■お問合せ

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局

ジオリゾーム内 井上 e-mail:info@nponpc.net Tel:072-653-5811

<http://www.georhizome.com/>



地下化された御堂筋



「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事などがありましたら info@nponpc.net までお送り下さい！皆様のご意見、お待ちしております！ tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！ぜひこちらでも登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

《重要伝統的建造物群保存(重伝建)地区内における電線類地中化に関するアンケート調査》 立命館大学政策科学研究科 井上利一

【調査方法】 アンケート用紙を各重伝建地区の担当者へ郵送し、メールによる回答を依頼した。調査にあたっては、全国伝統的建造物群保存地区協議会に協力を得て実施した。

【結果】 93 地区中、重伝建地区内で一部でも電線類地中化を実施している地区は 42 地区(45.2%)。地区内すべて電線類地中化している地区は 5 地区(5.4%)である。一部地中化している地区は半数弱と多いが、コスト等の兼ね合いから、メインの通りだけを地中化して、裏配線などと組み合わせているようである。逆に電線類地中化を実施していない地区は 51 地区(54.8%)となっている。電線類地中化を実施した42 地区では、88.1%の地区が「成果があった」と回答。残りの地区は何とも言えないと回答。成果がないと回答した地区はなかった。



山口県古市金屋の街並み

電線類地中化を実施する上で苦労したのは、電力・通信事業者との調整が 57.1%で最も多かった。次に「地上トランスの設置」が 54.8%、「関係住民の合意形成」が 52.4%であった。また、地中化を実施していない51 地区で、実施されない理由としては、最も多かったのが、「コストが高くつく」で 69.6%。次に「道路が狭く、技術的にむずかしい」と「予算化や制度適用がむずかしい」でともに 34.8%となった。電線類地中化に対する、要望は強いが、コスト面やトランス設置場所、住民の合意形成などの問題が実施を妨げていると考えられる。

【まとめ】 重伝建地区において、電線類地中化は必要ないと回答した地区は 1 地区だけで、電線類地中化に対するニーズは全体的に高いと考えられるが、コスト面や道路特性、電線管理者との調整、住民との合意形成、ノウハウの不足などの理由から、進んでいないといえる。一部地中化の地区も含めて、その成果については、約9割の地区で景観向上が認識されている。また、約 25%の地区で「住民の景観まちづくりへの取り組みが進むようになった」と回答・住民が景観に何らかの変化があったことで、景観まちづくりへ取り組むきっかけになったと推定される。

よって、コストも含めた、電線類地中化の阻害要因を取り除くための施策(国からの補助金等の支援、電線類地中化の専門家の派遣、狭小道路での施工技術等)を施すことによって、電線類地中化は推進していくと考えられる。



ホームページでも、最新情報を詳しく掲載していきます。 <http://nponpc.net/>
フェイスブックはこちら: <http://www.facebook.com/NPONPC>